

周知



雨や風で防災行政無線の内容が聞き取れない場合や、聞き逃した場合などに対応します。

- 放送内容を確認できる「防災行政無線音声確認サービス」の回線増設☎0120—360—100(無料)
- 携帯電話を所持していない世帯向け避難情報等電話配信サービスの実施(※要事前登録)

また、埼玉県では洪水時の自主的な避難行動を支援するため、河川監視カメラと危機管理型水位計を設置しました。リアルタイムで河川の情報を確認できます。



【河川監視カメラ】
(忍川沿い)吾妻橋
観測局



【危機管理型水位計】
忍川吾妻橋

▶問い合わせ 危機管理課危機管理担当(内線281・282)

令和3年度から忍川の河川整備を実施します

令和元年東日本台風による浸水被害を受け、県および市では、早期に地域の安全確保を図るため、令和3年度から、一級河川忍川において「浸水対策重点地域緊急事業」を実施します。

調節池の整備や河道の掘削、校庭貯留など、治水に関する各種取り組みを、県・市それぞれの役割分担により実施することで、安全・安心なまちづくりに努めていきます。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

- ▶事業期間 令和3年度～8年度
- ▶事業内容 埼玉県：調節池の整備
河道の掘削
橋梁の架け換え など
- 行田市：校庭貯留(中央小、南小、西小、泉小学校4カ所に設置)
- 田んぼダム
- マイ・タイムラインの作成
- 土地利用の見直し など



図面掲載(令和3年3月30日 国・県記者発表資料)

▶問い合わせ 道路治水課治水担当(内線5716・5731)

忍川浸水対策連絡協議会を開催しました



4月27日、「みらい」文化ホールで、第1回忍川浸水対策連絡協議会を開催しました。本協議会は、令和元年東日本台風の記録的な豪雨により、甚大な被害を受けた地域の浸水対策を推進するため、市および地域の住民が相互に連携を図り、情報を共有することを目的としています。

この日は、委員である地元自治会長および市職員、オブザーバーとして行田県土整備事務所および独立行政法人水資源機構利根導水総合事業所の職員が出席。これまでの取り組みを報告するとともに、今後の事業計画について話し合いが行われました。

近年、気候変動の影響により、全国的な災害の頻発化、激甚化が懸念されています。令和元年東日本台風では、本市は災害対策本部を設置し、避難情報の発令や避難所の開設など、市民の安全確保のため、全職員を動員して対応しました。しかしながら、検討すべき課題も数多く残りました。この経験を生かすため、県および本市ではさまざまな対策に取り組んでいます。



かさ上げ工事を行った忍川沿い



排水ポンプの増強



逆流防止せきの設置



土のうステーションの設置

避難



避難所では避難スペースの拡大および物資をより充実させました。

- 親族や友人宅への広域避難の促進(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、避難所が過密状態になることを防ぐ)
- 校舎2階など高所への速やかな受け入れへ変更
- 車両避難場所の確保
- 土のうステーションを設置
- 避難所内のプライバシー確保と感染症予防対策の一環としてワンタッチパーティションを500張用意



ワンタッチパーティション

治水



洪水災害から市民の皆さんの身を守るため忍川流域などで次の事業に取り組んでいます。

- 忍川の堤防かさ上げ工事
- 忍川の樹木伐採や土砂掘削
- 忍川などへの逆流防止せきの設置
- 緑町排水機場排水ポンプの増強
- 側溝や排水路の改良工事の他、太井地区に雨水などの貯留施設を設置するなど出水対策を実施
- 河川整備をはじめとする忍川の流域治水対策に関して、国土交通省に「忍川の流域治水対策に関する要望書」を提出